

リナックスマスター2 日間集中セミナー

吉田 昌弘 業務管理グループ

1. はじめに

これまでサーバ管理方法は、引継いだ作業手順や経験による独学をもとにしていた。しかし、管理の効率化や手順の妥当性については不明な点が多く問題意識を持っていた。そこで、これまでの管理業務を見直す目的でリナックスマスター2 日間集中セミナー（以下、研修）を平成 29 年 10 月 24 日～25 日に受講した。研修は、株式会社イーネットマーキュリーが主催し、Linux サーバ機とクライアント機を実機で操作しながら OS のインストールからサーバの構築までを 2 日間かけて学習するものである。研修日程を表 1 に示す。

2. 研修内容

今回は、講師 1 名に対して大学関係者や企業経験者等の合計 3 名が参加し受講した。進行は、最初にテキストが渡され講師による要点の説明後に実機の操作を行っていく方式であった。操作手順は予め講師が用意したサーバアプリケーションソフト等（以下サーバアプリ）や設定方法についてテキストに記載された通りに入力し実践した。このため、サーバ構築の初心者でも短期間で実施可能な内容となっている。OS は CentOS7.1 を用い、インストールするサーバアプリを限定選択した。これにより不要なものに起因する情報セキュリティの問題を回避することができる。

3. 研修成果

本研修で得たものは多いが、ここでは基本的な構築方針等について再認識したので紹介する。

(1) サーバ構築方針

構築は、必要最小限のサーバアプリのみをインストールし、他のものが必要なら後から追加する。管理上は実機 1 台につき、ひとつのサーバ機能に

表 1 主な日程

| |
|-------------------------|
| 1 日目 |
| ネットワーク環境の説明 |
| Linux インストール (CentOS 7) |
| vi エディタ (練習) |
| サーバ構築事前設定 |
| ファイアウォール導入 |
| 脆弱性対応 |
| ウイルス対策導入 |
| セキュリティ対策説明と 1 日目内容総括 |
| 2 日目 |
| FTP サーバの構築 |
| Web サーバの構築 |
| DB サーバの構築 |
| インストール方法の違いについて |
| バーチャルドメイン設定 |
| サーバ公開・アクセス制御 |
| Movable Type 導入 |
| サーバ運用設定 |

限定すべきである。この方針は独学で得た管理の考え方と合致していることを確認した。

(2) サーバアプリインストール方針

WEB サーバなど主要なサーバアプリについては最新版をコンパイル・インストールする。依存性に必要なライブラリ等についてはバイナリパッケージを簡易的に利用してよい。

本研修を受講することでサーバ構築の基本方針について再度整理できた。特に構築当初から情報セキュリティを意識した手順は参考となった。

今後、WEB サーバのリプレースの案件があるため、研修の受講内容を生かして構築する予定である。